

安倍9条改憲を止めるには

分断して求心力高める

とにかく憲法を汚したい



中野さん

6月1日、中野ゼロホー
ルで開催された「九条の会
東京連絡会6・1大集会」
で中野晃一上智大学教授
が、日本国憲法の構成の特
徴、改憲論の歴史、現在の
安倍9条改憲を止めさせる
取り組みなどについて講演
しました。(文章・見出し
とも責任は編集部)



安倍改憲NOをアピールした5・3憲法集会

一体何のために改憲をした
のかということが良く分か
らない。何でもよいかから改憲
させてくれという話になって
いる。これは、今の政治状況
において日本だけではない。
アメリカやイギリス、あるい
はフランス、ヨーロッパのい
ろいろな国を含めて、政治が
大きく変質してしまったこと
の日本的な現れ方だと思っ
ています。

戦後になって、しかしすぐ
に冷戦を迎えました。冷戦期
の中で日本の場合はいわゆる
55年体制で自民党が万年与党
で社会党を含めた革新勢力が
万年野党という状態が、38年
間、1993年に細川連立内
閣ができるまで続きました。
しかし自民党は、最初は憲法
を変えたいという岸信介さん
のような人達もいましたが、
60年安保の大失敗を経験して
やめさせられ、その後は事実
上目指していなかった。

55年体制の冷戦期の時期に
は世界的に利益誘導の政治と
呼ばれるものを行なわれてい
ました。平たく言うとお金で
す。分配、再分配も含めて誰
が何をどれだけ得るのかとい
うのが政治の最大の関心事で
した。日本の場合は政権交代
が起きませんでした。革新
勢力が強くなっていった時
代、保守伯仲の時代は、それ
こそ田中角栄さんのように福
祉元年とか言いだして、あわ
てて社会保障をやらなくては
なりませんでした。

かつて保守も
真ん中にいた
つまり革新勢力が市民・労
働者の支持を得て、票を伸ば
し、議席を伸ばしてくると、
これで政権交代が起きたら大
しょう。そういう時代に入っ
ています。
そうやってレイシズムだ、
ヘイトだ、あるいは女性に対
するパッシングだ、そういう
争点で改憲です。「日本
を取り戻す」「戦後レジーム
からの脱却」、つまり戦後の
日本を否定して新しいアイデ
ンティティを作るのだ、復古
する争点で改憲です。「日本
を取り戻す」「戦後レジーム
からの脱却」、つまり戦後の
日本を否定して新しいアイデ
ンティティを作るのだ、復古
する争点で改憲です。

冷戦が終わってグローバル
資本主義の時代になると、も
っと収奪できるのではないか
と政策が変わってきます。い
ゆる自己責任論、小さな政
府、新自由主義改革、公共支出
のカット、構造改革路線、こ
うした政治に移ってきます。つ
わゆる自己責任論、小さな政
府、新自由主義改革、公共支出
のカット、構造改革路線、こ
うした政治に移ってきます。つ
わゆる自己責任論、小さな政
府、新自由主義改革、公共支出
のカット、構造改革路線、こ
うした政治に移ってきます。つ

安倍さんにとってみれば戦
後の日本のアイデンティティ
が欺瞞に満ちた穢(けが)れ
たもので、みともない憲法
というわけですから、それを
否定したいわけ
です。憲法を汚
すことさえでき
ればそれでよい
ということなの
で、何でもよい
という話になっていきます。
時代遅れだとか、70年以上
憲法改正してないのはおか
しいとか、現実にあつていな
いとかいうようなことをい
うことが大事です。

中道左派が勝てば労働組合、
労働者の側がより自分たちの
都合にあった政治ができる。
ただ両方とも真ん中にいま
す。あまり極端になると政権
が取れなくなるかもしれない
から、保守側も真ん中に寄っ
て政治をやっています。日
本の場合もそういうことでし
た。今振り返って、大平さん
田中さんの時はまともだった
と思うのは、もちろん幻想な
のですが、事実として今から
比べれば真ん中に寄って国民
統合を考えた。そういう
政治をしていた。極端に寄っ
て弱者を切り捨ててしまっ
て、選挙に勝つことができな
くなってしまふことを恐れる
ということがありました。

中道左派が勝てば労働組合、
労働者の側がより自分たちの
都合にあった政治ができる。
ただ両方とも真ん中にいま
す。あまり極端になると政権
が取れなくなるかもしれない
から、保守側も真ん中に寄っ
て政治をやっています。日
本の場合もそういうことでし
た。今振り返って、大平さん
田中さんの時はまともだった
と思うのは、もちろん幻想な
のですが、事実として今から
比べれば真ん中に寄って国民
統合を考えた。そういう
政治をしていた。極端に寄っ
て弱者を切り捨ててしまっ
て、選挙に勝つことができな
くなってしまふことを恐れる
ということがありました。

中道左派が勝てば労働組合、
労働者の側がより自分たちの
都合にあった政治ができる。
ただ両方とも真ん中にいま
す。あまり極端になると政権
が取れなくなるかもしれない
から、保守側も真ん中に寄っ
て政治をやっています。日
本の場合もそういうことでし
た。今振り返って、大平さん
田中さんの時はまともだった
と思うのは、もちろん幻想な
のですが、事実として今から
比べれば真ん中に寄って国民
統合を考えた。そういう
政治をしていた。極端に寄っ
て弱者を切り捨ててしまっ
て、選挙に勝つことができな
くなってしまふことを恐れる
ということがありました。

中道左派が勝てば労働組合、
労働者の側がより自分たちの
都合にあった政治ができる。
ただ両方とも真ん中にいま
す。あまり極端になると政権
が取れなくなるかもしれない
から、保守側も真ん中に寄っ
て政治をやっています。日
本の場合もそういうことでし
た。今振り返って、大平さん
田中さんの時はまともだった
と思うのは、もちろん幻想な
のですが、事実として今から
比べれば真ん中に寄って国民
統合を考えた。そういう
政治をしていた。極端に寄っ
て弱者を切り捨ててしまっ
て、選挙に勝つことができな
くなってしまふことを恐れる
ということがありました。

中道左派が勝てば労働組合、
労働者の側がより自分たちの
都合にあった政治ができる。
ただ両方とも真ん中にいま
す。あまり極端になると政権
が取れなくなるかもしれない
から、保守側も真ん中に寄っ
て政治をやっています。日
本の場合もそういうことでし
た。今振り返って、大平さん
田中さんの時はまともだった
と思うのは、もちろん幻想な
のですが、事実として今から
比べれば真ん中に寄って国民
統合を考えた。そういう
政治をしていた。極端に寄っ
て弱者を切り捨ててしまっ
て、選挙に勝つことができな
くなってしまふことを恐れる
ということがありました。

中道左派が勝てば労働組合、
労働者の側がより自分たちの
都合にあった政治ができる。
ただ両方とも真ん中にいま
す。あまり極端になると政権
が取れなくなるかもしれない
から、保守側も真ん中に寄っ
て政治をやっています。日
本の場合もそういうことでし
た。今振り返って、大平さん
田中さんの時はまともだった
と思うのは、もちろん幻想な
のですが、事実として今から
比べれば真ん中に寄って国民
統合を考えた。そういう
政治をしていた。極端に寄っ
て弱者を切り捨ててしまっ
て、選挙に勝つことができな
くなってしまふことを恐れる
ということがありました。

中道左派が勝てば労働組合、
労働者の側がより自分たちの
都合にあった政治ができる。
ただ両方とも真ん中にいま
す。あまり極端になると政権
が取れなくなるかもしれない
から、保守側も真ん中に寄っ
て政治をやっています。日
本の場合もそういうことでし
た。今振り返って、大平さん
田中さんの時はまともだった
と思うのは、もちろん幻想な
のですが、事実として今から
比べれば真ん中に寄って国民
統合を考えた。そういう
政治をしていた。極端に寄っ
て弱者を切り捨ててしまっ
て、選挙に勝つことができな
くなってしまふことを恐れる
ということがありました。

生み出される格差 競争での生き残りかけ

競争での生き残りかけ
競争での生き残りかけ
競争での生き残りかけ
競争での生き残りかけ
競争での生き残りかけ
競争での生き残りかけ
競争での生き残りかけ
競争での生き残りかけ
競争での生き残りかけ
競争での生き残りかけ

競争での生き残りかけ
競争での生き残りかけ
競争での生き残りかけ
競争での生き残りかけ
競争での生き残りかけ
競争での生き残りかけ
競争での生き残りかけ
競争での生き残りかけ
競争での生き残りかけ
競争での生き残りかけ

競争での生き残りかけ
競争での生き残りかけ
競争での生き残りかけ
競争での生き残りかけ
競争での生き残りかけ
競争での生き残りかけ
競争での生き残りかけ
競争での生き残りかけ
競争での生き残りかけ
競争での生き残りかけ

アイデンティ ティの政治

アイデンティティの政治
アイデンティティの政治
アイデンティティの政治
アイデンティティの政治
アイデンティティの政治
アイデンティティの政治
アイデンティティの政治
アイデンティティの政治
アイデンティティの政治
アイデンティティの政治

アイデンティティの政治
アイデンティティの政治
アイデンティティの政治
アイデンティティの政治
アイデンティティの政治
アイデンティティの政治
アイデンティティの政治
アイデンティティの政治
アイデンティティの政治
アイデンティティの政治

アイデンティティの政治
アイデンティティの政治
アイデンティティの政治
アイデンティティの政治
アイデンティティの政治
アイデンティティの政治
アイデンティティの政治
アイデンティティの政治
アイデンティティの政治
アイデンティティの政治

「馬鹿げている」と伝えて 何の合理性もない安倍改憲

「馬鹿げている」と伝えて
何の合理性もない安倍改憲
「馬鹿げている」と伝えて
何の合理性もない安倍改憲
「馬鹿げている」と伝えて
何の合理性もない安倍改憲
「馬鹿げている」と伝えて
何の合理性もない安倍改憲
「馬鹿げている」と伝えて
何の合理性もない安倍改憲
「馬鹿げている」と伝えて
何の合理性もない安倍改憲

「馬鹿げている」と伝えて
何の合理性もない安倍改憲
「馬鹿げている」と伝えて
何の合理性もない安倍改憲
「馬鹿げている」と伝えて
何の合理性もない安倍改憲
「馬鹿げている」と伝えて
何の合理性もない安倍改憲
「馬鹿げている」と伝えて
何の合理性もない安倍改憲
「馬鹿げている」と伝えて
何の合理性もない安倍改憲

「馬鹿げている」と伝えて
何の合理性もない安倍改憲
「馬鹿げている」と伝えて
何の合理性もない安倍改憲
「馬鹿げている」と伝えて
何の合理性もない安倍改憲
「馬鹿げている」と伝えて
何の合理性もない安倍改憲
「馬鹿げている」と伝えて
何の合理性もない安倍改憲
「馬鹿げている」と伝えて
何の合理性もない安倍改憲

「社会的底辺」とは

「社会的底辺」とは
「社会的底辺」とは
「社会的底辺」とは
「社会的底辺」とは
「社会的底辺」とは
「社会的底辺」とは
「社会的底辺」とは
「社会的底辺」とは
「社会的底辺」とは
「社会的底辺」とは

「社会的底辺」とは
「社会的底辺」とは
「社会的底辺」とは
「社会的底辺」とは
「社会的底辺」とは
「社会的底辺」とは
「社会的底辺」とは
「社会的底辺」とは
「社会的底辺」とは
「社会的底辺」とは

「社会的底辺」とは
「社会的底辺」とは
「社会的底辺」とは
「社会的底辺」とは
「社会的底辺」とは
「社会的底辺」とは
「社会的底辺」とは
「社会的底辺」とは
「社会的底辺」とは
「社会的底辺」とは

記憶に残るうまさ 親方と食べた田舎うどん

記憶に残るうまさ
親方と食べた田舎うどん
記憶に残るうまさ
親方と食べた田舎うどん
記憶に残るうまさ
親方と食べた田舎うどん
記憶に残るうまさ
親方と食べた田舎うどん
記憶に残るうまさ
親方と食べた田舎うどん

記憶に残るうまさ
親方と食べた田舎うどん
記憶に残るうまさ
親方と食べた田舎うどん
記憶に残るうまさ
親方と食べた田舎うどん
記憶に残るうまさ
親方と食べた田舎うどん
記憶に残るうまさ
親方と食べた田舎うどん

記憶に残るうまさ
親方と食べた田舎うどん
記憶に残るうまさ
親方と食べた田舎うどん
記憶に残るうまさ
親方と食べた田舎うどん
記憶に残るうまさ
親方と食べた田舎うどん
記憶に残るうまさ
親方と食べた田舎うどん



記憶に残るうまさ
親方と食べた田舎うどん
記憶に残るうまさ
親方と食べた田舎うどん
記憶に残るうまさ
親方と食べた田舎うどん
記憶に残るうまさ
親方と食べた田舎うどん
記憶に残るうまさ
親方と食べた田舎うどん